

小水力発電設置を検討

問 小水力発電を西川に取り付けて市民にアピールしてはどうか。また、水道管の落差を利用した発電の可能性は。

答 市民協働で自然エネルギーの普及・拡大を図るために、西川に取り付けることは有効なPR方法と思われる。実証調査の中で検討し、工夫していきたい。

また、水道管の落差を利用した小水力発電については、現在適した場所の絞り込みは終えており、費用対効果、費用便益について分析中である。平成28年までのアクアプラン2007の計画期間内には実施したいと考えている。

用語解説「小水力発電」

水道管の中の水流や、水路のわずかな落差を利用して発電する小規模な水力発電。

生物多様性の保護・推進

問 議員提案による生物多様性保護・推進に係る条例を制定したが、本条例に基づく市の取り組みは。

答 平成22年度は、地域全体の理解を深めていくため、生物多様性をテーマとしたフォトメッセージの作品募集や、身近な生き物調査、岡山の自然展等を実施する。

また、地域の身近な生き物をシンボルとして、各地域の自主的な環境保全活動を推進する事業にも取り組み、22年10月に開催される「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)の関連イベントで、市民の取り組みや自然環境などを情報発信していく。

観光・経済

観光スポットとして期待される瀬戸内海の島々



市の観光戦略

問 瀬戸内海を観光戦略の中心にしてはどうか。

答 瀬戸内海に的を絞った情報発信については、自然景観に対するニーズが比較的高い台湾や中国からの観光客の誘致に特に有効だと考えている。

平成22年7月19日から10月31日の間、瀬戸内海の島々を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭」を絶好の機会と捉え、瀬戸内の魅力を満喫し、広いエリアで周遊ができるよう、周辺自治体と連携していきたい。

また、岡山は医療の先進地なので、健康診断等を組み入れた「メディカルツーリズム」など、医療や健康を切り口とした事業展開にも努めたい。

特産品のアピールを

問 岡山の特産品を他県、海外に向けてアピールすることにより販路拡大につなげ、本市経済の活性化を図っては。

答 岡山ビジットアソシエーション(岡山市滞在推進協議会)を設立し、シティプロモーションの取り組みを開始し

た。この組織では、販路拡大などの面でビジネス意欲の旺盛な民間事業者を対象に商談の場を提供していく。

平成22年7月には、海外向けに桃やぶどうなど本市のフルーツを香港で売り込み、

首都圏向けには東京で観光やコンベンションとともにフルーツや野菜、海産物などを売り込んでいく予定である。

烏城黄金ずしで観光振興

問 新名物「烏城黄金ずし」をどう観光振興につなげ、具体的なPRを行うのか。

答 平成22年5月、岡山県鮭商生活衛生同業組合から、岡山特産の黒豆、黄ニラと金箔を使い、豪華で岡山らしさにあふれた「烏城黄金ずし」が発表され、新たな名物料理に加わった。今後、いろいろな店で独自の「烏城黄金ずし」が生まれ、参加店舗が増加していくことを期待している。

今後とも、県外での観光PRや市内のコンベンション開催等の機会を捉えて、強力に情報発信していく。



新名物「烏城黄金ずし」